

科目	学外実習 (Practical Training in Factory)		
担当教員	荻原 昭文 教授		
対象学年等	電子工学科・4年・前期・選択・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	C2(50%) D1(50%)	JABEE基準1(1)	(b),(d)2-a,(d)2-b,(d)2-c,(e),(g)
授業の概要と方針	企業またはその他の受け入れ機関で業務の一部を実際に経験することによって、技術者に必要な人間性を養うとともに、工学技術が社会や自然に与える影響に関する理解を深める。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【C2】実習機関の業務内容を理解し、実習先での具体的な到達目標を達成する。		実習機関の業務内容に対する理解度および実習先での具体的な到達目標の達成度を実習証明書と実習報告書で評価する。
2	【D1】実習を通じて工学技術が社会や自然に与える影響に関する理解を深める。		実習を通じて工学技術が社会や自然に与える影響に関する理解を深めたことを実習報告書と実習報告会で評価する。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	実習証明書、実習報告書および実習報告会の内容により単位を認定する。		
テキスト	なし		
参考書	なし		
関連科目	電子工学実験実習、卒業研究		
履修上の注意事項	実習機関に受け入れを依頼して実施する科目なので、節度を持って行動するとともに、健康管理、安全管理に留意して真剣に取り組むこと。		

授業計画1(学外実習)

内容(テーマ, 目標, 準備など)

- 1) 自分の希望する実習先を検討する。(職種, 場所, 実習時期など)
- 2) 実習先の調査と決定.
- 3) 実習先が決まれば, 必要な手続きを行う。(実習先により異なるため, ケースバイケース)
- 4) 夏季休業中に実習先にて, 実習を行う.  
期間中は, 実習先の指示に従うこと.
- 5) 夏季休業終了後, 実習報告書の提出および, 実習報告会にて実習内容の報告を行う.

備考

中間試験および定期試験は実施しない。学外実習を希望していても、受け入れ先が無い場合には、辞退となる。